

## 第 8 回 大気・雪氷・海洋間の物質交換・循環と極域への

### 物質輸送に関する研究集会

日時: 2016 年 8 月 1 日 13:15 - 2 日 9:30 - 16:00

於: 北海道大学・低温科学研究所 講義室

8月1日

13:15-13:20 北海道大学・低温科学研究所 所長挨拶

13:20-13:25 今回の研究会内容紹介 原・福岡大

観測報告・室内実験・解析(1) (司会: 原)

13:25-15:15

JARE57 H128 調査研究報告 竹中規訓・大阪府立大

南極内陸部で行われた積雪中のイオン移動実験 野呂和嗣・大阪府立大

南極 H128 設置 AWS と昭和基地地上気象観測データとの比較  
本山秀明・極地研

昭和基地の高温と氷床表面の融解を起こしたフェーン現象  
平沢尚彦・極地研

(休憩: 15:15-15:30)

観測・解析(2) (司会: 野村)

15:30-17:30

昭和基地への海洋性気団流入と大循環場の関係 栗田直幸・名大宇宙地  
球環境研究所

東南極域海氷上の積雪の質量収支について 豊田威信・北大低温研

NaI / H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> 水溶液の凍結による I<sub>2</sub> 生成とその反応に及ぼす共存物質と紫外光の影  
響 藪下彰啓・九州大

海洋エアロゾルの表面で起こる不均一ラジカル反応の研究  
江波進一・環境研

海氷への堆積物の取り込みについて(ソナーからの結果)  
伊藤優人・北大低温研

8月2日

9:30-12:00

**観測・解析(2) (司会: 的場)**

海氷から大気へのブロモホルム放出

野村大樹・北大水産

南極沿岸域の海塩・ハロゲンの動態

原圭一郎・福岡大

フロストフラワーのお話

的場澄人・北大低温研

南極大陸沿岸雪氷中のハロゲンイオン濃度

平林幹啓・極地研

三酸素同位体組成を指標とした南極の大気酸化力の復元

服部祥平・東工大

JARE54トラバースによる南極表面雪に含まれる水溶性塩の空間分布

飯塚芳徳・北大低温研

(休憩: 12:00-13:00)

13:00-

**観測・解析(3) (司会: 飯塚)**

Ice core records of low molecular weight mono carboxylic acids from Aurora Peak in Alaska since 1660s

Ambarish Pohkrel・北大低温研

グリーンランドカナック氷河上の積雪観測に基づいた雪氷藻類の繁殖のモデル化

大沼友貴彦・千葉大

13:45-15:30

**これまでの研究から見えてきた今後の課題**

フロストフラワー観測から見えた次の課題

的場・北大低温研

極域大気中の海塩粒子とハロゲン: 今後の狙いどころ

原・福岡大

氷床上積雪中の物質分析から見えてきたこと

飯塚・北大低温研

海氷上の物質交換

野村・北大水産

南極の雪・エアロゾルでやってみたいこと -掘削計画と関連して-

服部・東工大

まとめ: 今後のこと、次回の開催など